

2009年9月期 連結決算及び事業概要

株式会社マルハニチロホールディングス

代表取締役社長 五十嵐 勇二

2009年11月9日

説明概要

- 1 連結決算の概要
- 2 事業環境
- 3 事業トピックス
- 4 海外売上高
- 5 環境予想と業績予想
- 6 中期経営計画(ダブルウェーブ'21)に関して

1-1. 2009年9月期実績



単位: 億円

マルハニチログループ 2009年9月期					
	実績	計画	前期		
売上高	4,053	4,400	4,537	計画比	92%
				前期比	89%
営業利益	44	80	88	計画比	55%
				前期比	50%
経常利益	32	60	71	計画比	53%
				前期比	45%
四半期純利益	26	17	15	計画比	153%
				前期比	173%

-2-

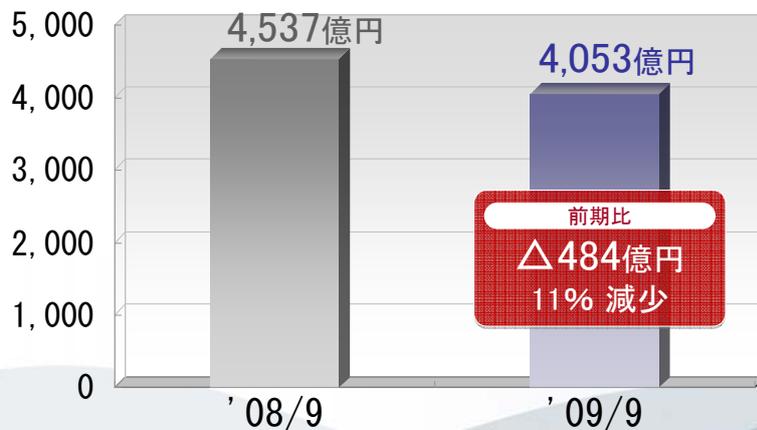
株式会社マルハニチロホールディングス

1-2. 売上高



売上高

(単位: 億円)



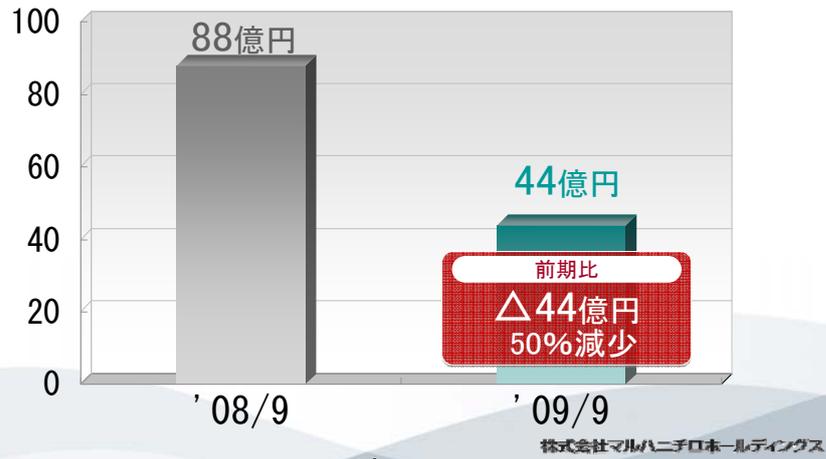
-3-

株式会社マルハニチロホールディングス

1-3. 営業利益

営業利益

(単位: 億円)

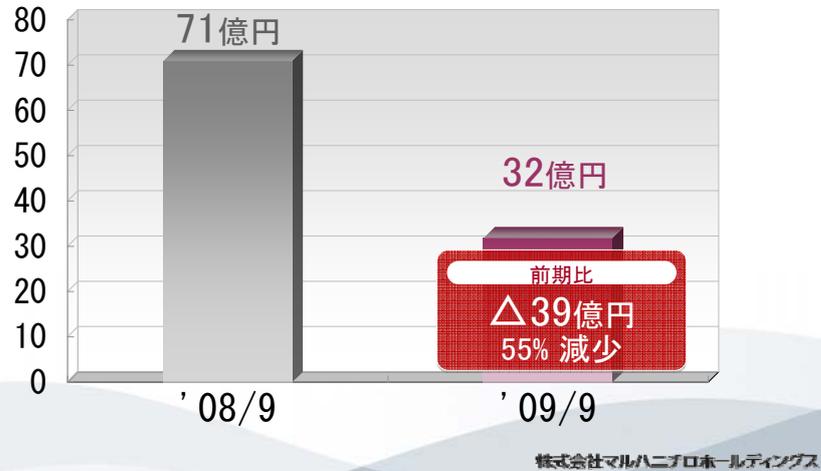


-4-

1-4. 経常利益

経常利益

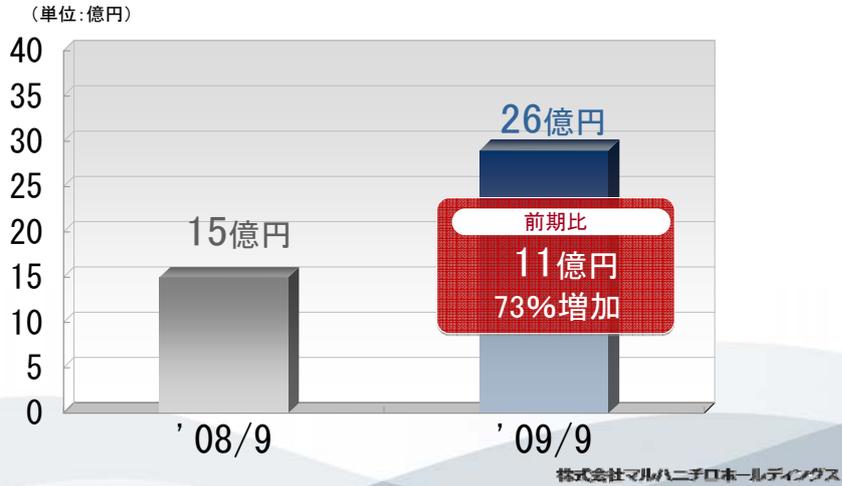
(単位: 億円)



-5-

1-5. 四半期純利益

四半期純利益



-6-

2-1. 事業環境

2009年9月期

- 世界的経済低迷
- 景気の先行き不安
- 買い控えによる消費低迷
- 極端な低価格志向

- ◆ クロマグロ等高級商材の消費低迷、価格下落
- ◆ 主要水産物の価格低迷
- ◆ 食品の市販価格低迷

-7-

株式会社マルハニチロホールディングス

2-2. 事業別環境の概略

健闘した事業

戦略販売事業
市販冷凍食品事業
アソアセアア事業

⇒水産加工品直販が堅調
⇒重点商材に集中、経費削減
⇒原料価格安定と経費削減

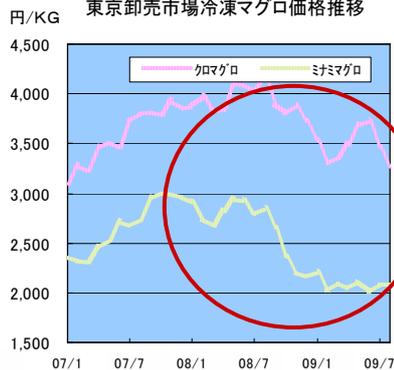
苦戦した事業

漁業事業
北米事業
水産商事
畜産事業

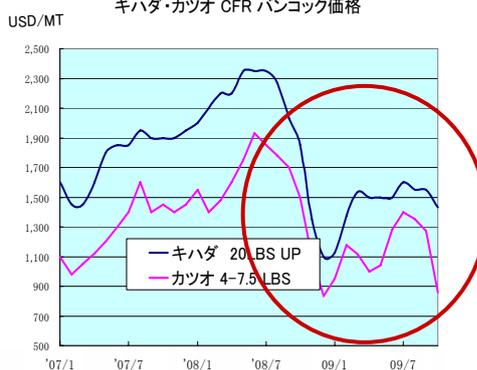
⇒漁獲不振と漁獲物市況低迷
⇒操業長期化とすりみ市況低迷
⇒刺身用マグロの市況低迷
⇒鶏肉の市況低迷

2-3. マグロ・カツオの相場

東京卸売市場冷凍マグロ価格推移

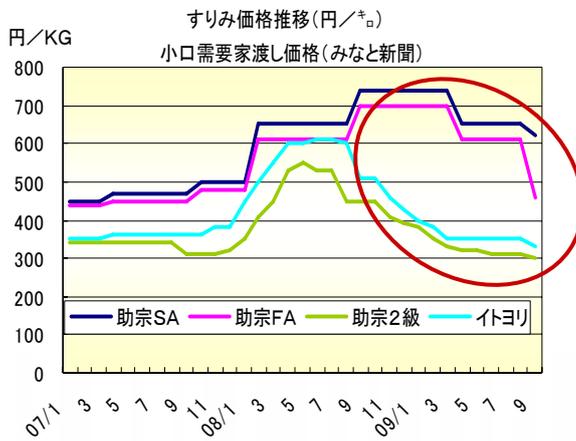


キハダ・カツオ CFR バンコク価格

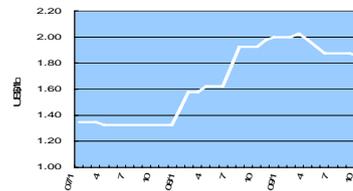


- 加工用マグロ・カツオ価格低迷により漁業事業に大きな影響
- 刺身用クロマグロ・ミナミマグロ価格低迷により水産商事に大きな影響
- マグロ全般の価格低迷により荷受事業に大きな影響

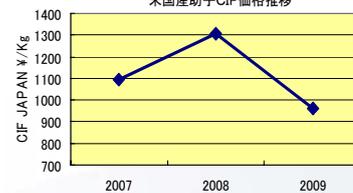
2-4. すりみ・フィレの相場



助宗フィレ(Block) ポストン市場卸売価格



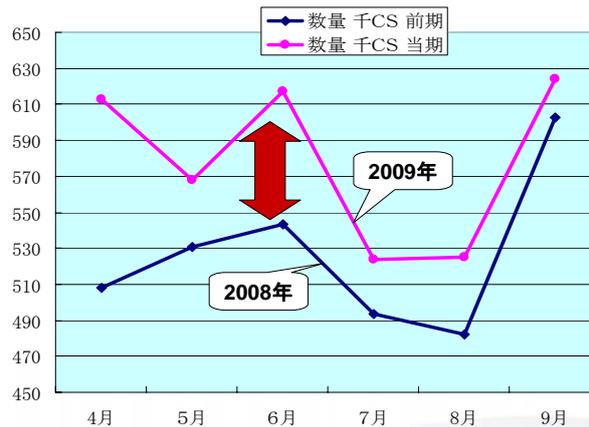
米国産助子CIF価格推移



● すりみ中・低級品を中心に価格低迷し、北米事業に大きな影響

株式会社マルハニチロホールディングス

2-5. 市販冷蔵の動静



● 重点商品への特化及び自社工場の稼働率向上等により市販用冷凍食品事業は順調に推移

株式会社マルハニチロホールディングス

3-1. 事業トピックス

2009年

- 4月 — 北海道・東北地区生産拠点統廃合
- 熊本魚と鹿児島魚市を合併
- 4月～ — アグロベスト社設備増強
- 5月 — 滝沢ハムと業務提携
- 6月～ — 冷凍食品生産ライン増強
 - ・マルハニチロ食品 大江工場・仙台工場・広島工場
 - ・アクリフーズ 群馬工場
- 8月 ⇨ 大型沖合巻き網船“第二たいよう丸”竣工
- 10月 ⇨ 大型海外巻き網船“第二ふじ丸”進水

-12-

株式会社マルハニチロホールディングス

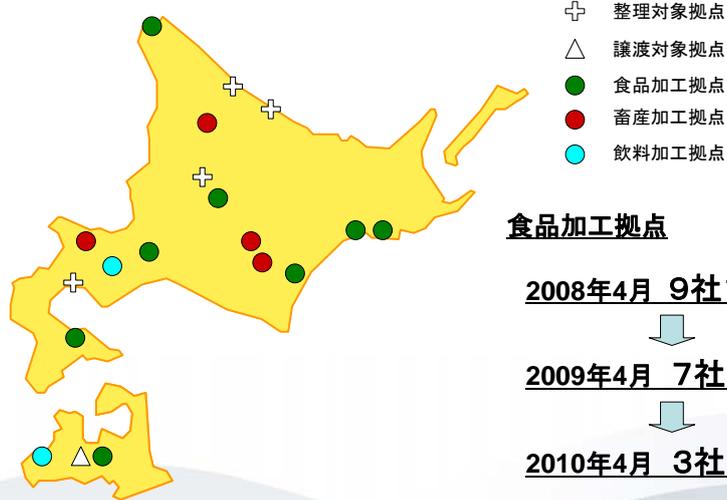
3-2. 資源アクセスの強化策



-13-

株式会社マルハニチロホールディングス

3-3. 生産拠点の統廃合

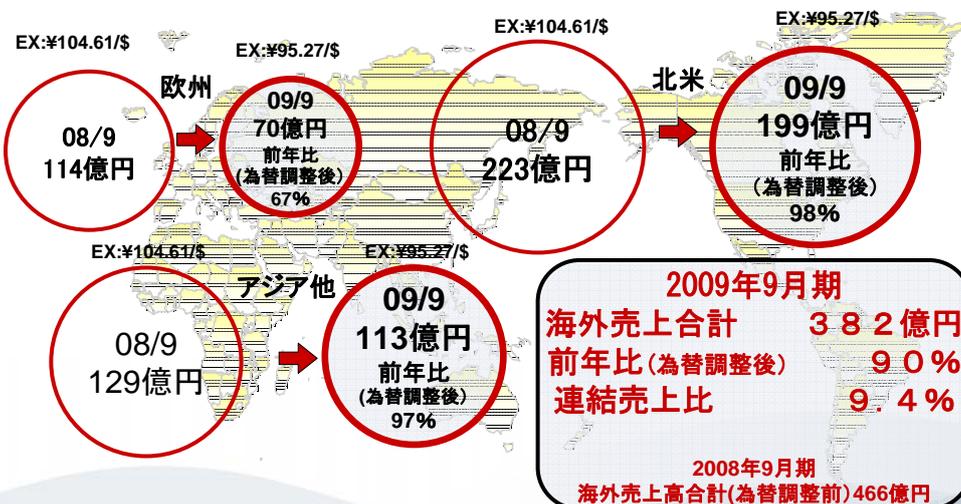


3-4. 冷凍食品事業設備投資

マルハニチロ食品		
大江工場	--	麺ライン増設
仙台工場	--	春巻きライン増設
広島工場	--	シューマイライン増強
アクリフーズ		
群馬工場	--	コロッケ・グラタンライン増強
新潟フレッシュデリカ		
新潟工場	--	コンビニ向け生産ライン増強 等

合計 約25億円

4. 海外売上高



5-1. 事業環境予想

漁業・養殖	漁獲量・魚価の緩やかな回復
北米事業	漁獲枠削減等により厳しい状況続く
水産商事	主要水産物の価格低迷続く
冷凍食品	市販用冷食を中心に順調に推移
アジア事業	欧米市場緩やかに回復

5-2. 業績予想



	10年3月期	前年比
売上高	8,500億円	95%
営業利益	130億円	84%
経常利益	90億円	111%
当期純利益	35億円	-

-18-

株式会社マルハニチロホールディングス

6-1. 中期経営計画(ダブルウェーブ21)



ダブルウェーブ21

定性目標

- ◆ 経営統合の完成（効率化とシナジー創出）
- ◆ 卓越した水産物調達力に基づく安定的供給
- ◆ 安全・安心に加えて健康を提案する商品群の充実
- ◆ 海外市場への挑戦
- ◆ コンプライアンスの徹底

定量目標

2010年度利益目標 下半期の環境を見定めたうえで、
修正目標を決算発表時に提示

-19-

株式会社マルハニチロホールディングス